いなさの風

上野間小だより　令和３年２月号

野に咲く花のように

校長　吉　川　正　美

今年の冬は、昨年の暖冬具合と比べると、割と寒い日が多いように感じます。そんな寒い朝、交通立哨に向かう道すがら、心を癒やされるのが、「水仙の花」です。

校庭の隅や民家の庭先、土手などに、あちこち咲いている白い可憐な花。なんと美しく清々しいことでしょう。寒風にさらされながら凜と立つ姿は、心が洗われるようです。毎年この季節、水仙の姿を見て、気を引き締め直し、生きる勇気をもらっている気がします。

愛知県には、緊急事態宣言が発出されています。コロナの猛威は、１年経ってもとどまるところを知らず、むしろ猛威を増すばかりです。たまたま美浜町は、感染者数が少ないですが、コロナ慣れによる気の緩みや変異種の市中感染、ワクチン接種の遅れや感染経路を追えない状況などを考えると、いつどこでクラスターが発生するか予測が立たず、全く油断ができません。軽症の人でも後遺症に苦しんでいる姿などを見ると、やはり怖い病気だと感じずにはいられません。

学校は、児童らとその家族のみなさんを守るため、引き続き感染対策をしっかりと行います。マスクの正しい付け方、手洗いの励行、換気の徹底、密を避ける（距離・アクリルボードなど）、同方向を向いての黙々給食、授業や行事における感染リスクの排除、などなど。児童らの気の緩みを押し戻すよう闘う日々です。ご家庭でもご協力いただくとともに、ご家族の皆様もお気を付けいただきますようお願いいたします。

今は、世界中の誰もが我慢し、耐えていかなくてはならないときです。寒風に立つ水仙のように凜々しく、心をシャキッとさせながら春を待ちたいと思います。

とはいえ、「学校は子どもにとって楽しいところでなくてはいけない」という使命もあります。楽しく学んでいるときの方が、苦しみながら学ぶより、吸収力は高く子どもは成長します。上野間小では、感染対策によるさまざまな制限の中で、いかにして子どもたちを楽しく学ばせるのか、毎日工夫しながら取り組んでいます。学校評価アンケートでいただいたご意見も真摯に受け止めつつ、コロナに負けない学びの場を創造していきたいと思います。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

２月・３月の予定

＜２月＞
- ３日　なわとび大会
- 　　　野間中入学説明会（６年）
- ９日　入学説明会
- １９日　児童会役員選挙
- ２６日　６年生を送る会

＜３月＞
- １日　通学団会
- １８日　６年生給食終了
- １９日　卒業式
- ２３日　１～５年生給食終了
- ２４日　修了式

＜２・３月の予定で中止になった行事＞　・学校公開日

＜２・３月の予定で延期となった行事＞　・なし

みはまの教育・合い言葉　「はぐくもう!　命あるもの　尊ぶ心」

始業式・大掃除（１／７）

新学期がスタートしました。新型コロナウィルスの感染状況、朝の冷え込みを考慮して放送で行いました。代表児童による発表では、１・３・５年生の代表児童が「３学期にがんばりたいこと」を発表しました。

身体測定（１／８）

各学年で身体測定を行いました。予想以上に冷え込みが厳しかったので、廊下にストーブを準備し、体操服に着替えずに私服のままで実施しました。一人一人確実に成長が感じられる、うれしい時間です。

なわとび練習（１／１３～）

２月３日（水）のなわとび大会に向けて、なわとび練習が始まっています。体育の授業に加えて、水曜日と金曜日の大放課には、全校で練習に励んでいます。各学年、友達と教え合ったり競い合ったりして練習しています。

地震避難訓練（1/14）

清掃時間に今年度３回目の地震避難訓練を実施しました。児童には、この週の「どこかの時間」で実施するということしか伝えずに抜き打ちのような形で行いました。児童は各々の清掃場所で安全を確保し、経路を各自で判断して運動場に避難しました。先生の指示に従うのではなく、自分で考えてよりよい行動を取ることに重点を置いた訓練でした。

ワックスがけ（1/22）

委員会とその後の時間を使って美化・給食委員と職員で廊下・階段などのワックスがけを行いました。少人数のグループに分かれ、担当箇所で協力して作業をしていました。今後、１／２９（金）に４～６年生が各教室、２／２２日（月）に６年生が体育館のワックスがけを行う予定です。きれいになった校舎で卒業式を迎えられそうです。